

新入生歓迎祭Web

「新入生歓迎祭 Web」は、新型コロナウイルス感染症の影響で例年のような新入生歓迎祭(以下、新歓)等の活動ができなくなったことをきっかけに、学生生活課からのご提案もあり、開発されました。

新歓Webでは、筑波大学で活動している200団体近くの部活やサークル(一般学生団体および課外活動団体)のポスターや活動情報を閲覧することができます。例年ならば学内各所に設けられている新歓用の掲示板の中からポスターを探すワクワク感をオンラインでも味わってもらえたらと考え、トップページでは各団体のポスターを掲示板のように並べています。ポスターをクリックすると、各団体の詳しい活動情報や写真、SNSへのリンクなども見ることができるようになっています。

開発にあたっては、GitHubというサービスを用い誰でも気軽に開発に参加してもらえるような形をとりました。その結果、情報学群の学生をはじめとした多くの学生にご協力をいただき、約2週間という短い期間で公開することができました。私一人では困難なことも多かったのが本当に感謝しています。

新入生の皆さんが想像していたものとは大きく異なる大学生活になってしまったと思いますが、新歓Webを通じて少しでも大学の雰囲気を知ってもらえれば幸いです。

(寄稿/全代会総務委員会情報部門 浅賀巧匠・生物2年)

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、例年行われる体育会合同新入生歓迎祭(以下、新歓)を中止し、代替案として5月10日にZoomを用いて「体育会合同オンライン新歓2020」を開催いたしました。

まず、代表者とも一度も会わずメールでのやりとりで準備を進め、新入生への周知方法がSNSやTWINSなどネット上のみであるという厳しい状況の中、このような新歓を成功させることができたのは、体育会に関わる皆様のおかげです。ありがとうございました。当日は、180人を超える新入生に参加していただきました。新歓は委員長挨拶から始まり、各課外活動団体紹介では各団体が1分間でその団体についての魅力を力説してくれました。Zoomを用いた新歓という環境をむしろ生かして音声や動画を自由に取り入れた、楽しいものになりました。その後の団体別説明会も行われ、新入生と在学生在が自由に交流でき、新入生に課外活動に関すること、大学に関することをより知ってもらうことができたと思います。

この会によって体育会に入会を決めた新入生もいて、このような新たな試みの新歓を開催できたことを心から嬉しく思います。ご協力本当にありがとうございました。

(寄稿/第44代体育会執行委員会企画局長 田中千裕・体専3年)

【ウェブサイト】

http://www.stb.tsukuba.ac.jp/~shinkan/



紫峰の風

shihou no kaze



筑波大学 University of Tsukuba 第17号 2020年7月

「紫峰の風」は学生生活の様子や活動の報告を紫峰会基金協力者の皆様にお届けする広報誌で、紙面の企画や記事の取材等は学生広報会議や広報部会の学生が実施しています。この名称には「筑波の峰から吹き降りる風に、我々の活動への想いを乗せて、全国の皆さまのもとへお届けする」という意味が込められております。



第2・第3エリアを望む風景(6月29日撮影)



かえで通り(6月29日撮影)



大気像(7月2日撮影)

筑波大学における「新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた活動形態」 《令和2年6月10日付、学生・教職員への通知(抜粋)》

【学生の入構】

4月17日から政府による緊急事態宣言の対象地域が全国に拡大され、入構禁止となったが、6月19日からは感染拡大防止に留意して、通常通り入構が可能となる。ただし、直近2週間の健康観察記録を提示・携帯する。不必要な入構は控える。

【授業の対応】

8月7日までの春学期の授業はすべてオンラインにて実施/実験、実習、実技等については8月下旬から9月の実施に向けて検討中

【研究活動における対応】

感染拡大防止に留意して研究活動を行う/セミナー・ゼミ等はオンラインでの実施を推奨し、入構した際には構内の滞在時間をできるだけ減らす/実験・実習を伴う研究指導及びゼミ活動については、大学院生及び学群4年生で少人数(20名未満を目安とする)にて指導教員が許可し実施できる

【経済支援】 5月11日現在

全学群生を対象とした一定額の支援金の給付/自宅を離れて居住する学群生に対する一定額の支援金の給付/大学院生を対象にしたRA・TA支援経費の拡充/私費留学生の一部を対象に支

援金の給付/すべての学生に対する一時貸付金による支援/学生支援金の確保のための「学生のための緊急支援金」寄付の実施

【課外活動】

団体での課外活動(小規模な活動を含む)を自粛する。ただし、感染拡大防止を図りながら行う個人活動のみ可能とする。

【学生宿舎】 6月11日現在

4月3日、4日に行う予定であった学生宿舎への入居について6月以降の入居日の設定

【健康管理について】 6月4日現在

学習管理システム(manaba)を用いて定期健康診断のweb問診を実施/総合相談窓口および学生相談室はオンラインまたは電話によるカウンセリングを実施

【参照】大学HP HOME>新型コロナウイルス感染症への対応(まとめ)

http://www.tsukuba.ac.jp/about/antidisaster/covid-19-list.html



2020年度授業料納付期日延期のお知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、2020年度授業料納付期限を以下のとおり延期しますので、引落日前日までに指定口座へご入金くださいますようお願いいたします。

第1期(4月~9月)

金額 267,900円(ただし、法曹大学院は402,000円)
納付期限 5月29日(金) → 8月31日(月)
引落日 5月27日(水) → 8月27日(木)

第2期(10月~3月)

金額 267,900円(ただし、法曹大学院は402,000円)
納付期限 11月30日(月) → 12月31日(木)
引落日 11月27日(金) → 12月28日(月)

■お問い合わせ 財務管理課出納担当(収入) 029-853-2161

「宣揚歌」の紹介

一、桐の葉は木に朽ちらんより
秋来なば先駆け散らん
名のみなる塵埃を捨てて
醒めて立て男子や我等

二、日の本の教への庭に
いと高き学舎ありと
人も知る茗溪の水
よし潤れよ濁さんよりは

三、年を経て百年過ぎぬ
いまここに水は潤るとも
新泉は筑波のもとに
いざ起たん若人われら

四、桐の葉は筑波の庭に
いや茂り三〇年過ぎぬ
新しき世紀を拓き
いざ行かんこぞりて吾ら

(作詞 第六代東京教育大学長 大山信郎)
(作詞 第六代筑波大学長 北原保雄)

本学は、明治5年にわが国最初の師範学校として設立され、昭和48年に筑波大学として生まれ変わり、茗溪の優れた歴史と伝統を守りながらも、新しい時代に生きる大学として、教育に、研究に、スポーツにと大活躍していることは皆さんもご承知の通りです。その歴史の中で、100年近くも歌い繋がれている歌があります。宣揚歌「桐の葉」です。スポーツ大会などで筑波大学を応援する時などにこの宣揚歌が歌われます。この宣揚歌「桐の葉」は、大正8年の東京高等師範学校の大学昇格運動を契機に生まれ(1番、2番)、その後、筑波の地への移転や筑波大学開学30周年の際、新しい歴史と伝統を築いていくために、新たな歌詞(3番、4番)が加わりました。

一般社団法人茗溪会 「茗溪」平成29年No.1093 参照

筑波大学メッセージソング「IMAGINE THE FUTURE ~開かれた未来へ」 次号以降、筑波大学のブランドスローガンを紹介します。

学生相談室から

総合相談窓口 029-853-8430
学生相談受付 029-853-2415

「物語」の力

人間系 慶野 遥香

緊急事態宣言とともに始まった春学期が終わろうとしています。この数か月、学生の皆さんは様々な困難に直面し、保護者の方々も、ご自身も大変な状況の中、お子様をご心配に思われることが多々あったのではないかと存じます。

心理療法の一つに、ナラティブ・セラピーというものがあります。来談者の「物語」を、セラピストは専門家の見地から分析するのではなく、「無知の姿勢」で、語りによって構成されるその人の現実や語ることを意味を聴き、問題の浸透した「物語」から、それにとって代わる「物語」を構築するのを助ける、という考え方です。

新型コロナウイルスを巡って、世界にはたくさんの「物語」が生まれました。悲しみ、絶望、差別や対立から、勇気、絆、逆境に耐える強さまで、一つのことを巡る「物語」がこれほど人々に共有されたことは、過去に類を見ないのではないのでしょうか。一方で、個人の「物語」はその人自身のものであり、同じ「物語」は二つとしてありません。我が身に降りかかった出来事や思いを、自身の物語として語る(=かたどる)ことで、私たちは経験を消化し、次に進んでいく力を得ることが出来ます。

コロナ禍の終息は、当分先になりそうです。まだ落ち着いて振り返る気持ちにならないかもしれませんが、話したいと思われたときには、ぜひ「語る」機会を持っていただければと思います。また、お子様に話したような様子が見られましたら、コメントやアドバイスは後回しにして、まずはじっくりとお子様の「語り」を聴いてあげてください。学生相談室でも、そうしたお手伝いができればと思っています。

紫峰の風 第17号 2020年7月発行

発行 事業開発推進室
編集 学生部学生生活課
学生広報会議(飯村玲菜・教育2年、石倉鈴太郎・医療2年、伊藤香菜子・生物2年、沓澤紗奈・生物3年、高見沢仙美・応理3年、竹森大貴・人文2年、村松真緒・社会2年、中山皓太・創成2年)
広報部会(稲葉彩月・教育4年、河原井かれん・芸専3年、黒川真臣・生命環境5年、山岸素子・知識4年)

タイトルロゴデザイン 塚本真理(芸術2016年度卒)

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1

電話: 029-853-5886

E-mail: gk.shihokai@un.tsukuba.ac.jp

筑波大学紫峰会基金WEBサイト

https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/shihokai/



紫峰の風送付先変更の連絡はこちら

E-mail: renkei@un.tsukuba.ac.jp

電話: 029-853-2030



筑波大学紫峰会基金に寄附して下さった皆さまへ

皆さまからいただいたご寄附の全額を課外活動団体援助金等として、使用させていただいております。援助金のおかげで活動にかかる負担が減り、学業や課外活動をさらに充実することができました、大変感謝しております。

今後も我々の活動を見守ってください。

課外活動団体一同

オンライン授業のあれこれ

筑波大学では春学期全面オンライン授業という取り組みが行われています。これは本学初の試みですが、実際の取り組み状況や感想などについてオンラインでインタビューを行いました。インタビューに答えていただいた方々は以下の人達です。

教育2年Aさん、生物3年Bさん、医療2年Cさん

Q1. どのようなオンライン授業を受けていますか？

- A:** 私の受けている授業は、学年に関わらず色々な学年の人が集まり、直接顔を合わせてZoom (Web会議) で活発に討論を行っています。グループディスカッションをすることもあるし、グループで話したことや個人で考えたことを発表するので、いろいろな学びが得られます。
- B:** 私の学類の特徴は実験や実習を行うことで、対面で協力してやるものが多く、現在それらの授業が行われていません。大体座学ですが…学類の中で、いくつか系統分類とか分子系と加工、好きなジャンルに分かれて少人数でそのジャンルにまつわる論文を読んでプレゼンテーションを作り発表するという授業があります。
対面の時は、パワーポイントをスクリーンに映してプレゼンテーションするのですが、今はTeams (Web会議) で行っています。ただTeamsだと通信状況が悪くてうまくいかないことが多いので、事前にパワーポイントを資料として各自共有して、それを先生がTeamsで開いて、一緒に見ていく形で授業を進めています。
- C:** 自分の学類も実習等がメインの学類なので、今のところは動画配信の授業が多いですね。
動画配信での出席確認について詳しくはわかりませんが、manabaで送られてきた動画を視聴したら先生側に視聴履歴が残るんじゃないかと思っています。あとは授業後のレポートですかね。

Q2. 日常生活の変化はありますか？

- B:** そうですね、自分の好きなタイミングで視聴できるものが多いので、逆に生活リズムが整った気がしてよく眠れるようになりました。疲れているときに無理して視聴しなくていいので。
- C:** 今まで8時40分から必ず授業があったんですけど、動画配信だといつ見てもいいって感じなので朝起きられなくなりました。ただ、たまにその動画をリアルタイムで視聴しなければいけない時があって、それも「時間通り見てください」という指示が事前がないので、困ったりします。

Q3. オンライン授業の感想など

- A:** ・自分の時間の使い方に合わせて授業が受けることができ、一日中オンデマンドの授業だけの人は結構昼から夕方にかけてバイトをしたりできるのでいいなと思います。
・出席カード代わりの課題が沢山あって、普段の対面式の授業よりも1個1個の課題が、提出期限も短く睡眠時間を削ってしまうので、課題の重さが負担かなと思います。今まで授業の終わりに書いていたんですけど、レポートという形になると「ちゃんと考えなきゃ！」って思っ時間が掛かります。
・課題が減ったらうれしいです。
- B:** ・英語で進める授業があって、専門的なことを英語で言われると何を言っているのかよくわからないことがあるのですが、オンラインだと録画が残っていて、あとから聴き直せるので、復習できるのは大きな利点ですね。
・急に始まったことだから仕方ないと思うんですけど、先生によってオンライン授業のやり方が違うので、それに合わせるのに精いっぱい、授業に関する情報収集が難しいですね。一個一個確認しておかないと不安だし、出席したという事の確認がとれない科目は課題をこなしてないと全部水の泡になってしまうのがちょっと嫌で、それが大変です。
・座学でパワーポイントが流れているとき、スライドのどこの部分について言及しているかはっきり示しながら進めてもらいたいです。
- C:** ・聞き逃しや見逃しを戻って確認できるのは大きいですね。
・対面式だと友人と授業を受けているので、わからないことがあるとすぐ聞けたり、授業後に先生に聞けたりしますが、一人でオンライン授業を受けているとわからないときにすぐ解決できないのが難点ですね。
・動画配信型の授業に関する事で、急に動画をその時間に見なきゃいけないとか、授業が始まる時間までに動画がアップロードされないのは困るので、そういった問題が解消されたらいいなと思います。



宿泊施設(筑波研修センター)事業廃止のお知らせ

これまで、ご案内しておりました「筑波研修センター」は、令和2年6月30日をもって、事業廃止となりました。同センターの廃止に伴い、これまでご利用いただきました特典割引が終了いたしましたことを併せてお知らせいたします。

自宅での過ごし方

4月17日からの大学入構禁止に伴い、自宅で過ごす時間が増えました。それに伴い、生活にどんな変化があったか、そして

1. 食事はどうしているか 2. 健康管理はしているか 3. サークル活動はしているか 4. 自宅で過ごしてよかったこと 5. 自粛が終わったらしたいこと について3人の学生にオンラインでインタビューを行いました。

自粛前 (アパート)

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
睡眠	起床	朝食・移動	授業	昼食	授業	課題・休憩	サークル活動	帰宅・夕食	課題	風呂・趣味	睡眠							

自粛中 (帰省)

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
睡眠	起床・朝食	オンライン授業	課題	昼食	休憩	オンライン授業	オンライン練習	夕食	休憩	課題	風呂	趣味	睡眠					

●変わった点

- ・課題が増えたため、総勉強時間は普段と変わらないように感じる。
- ・サークルがオンラインでの自主練習になり、部活動に費やす時間が減った。

自粛前 (アパート)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
起床	部活	授業	昼食	授業	バイト	夕食・風呂	課題	睡眠												

自粛中 (アパート)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
睡眠	起床	朝食	オンライン授業	昼食	オンライン授業	夕食・風呂	趣味	課題	睡眠											

●変わった点

- ・部活の活動時間が朝なのだが、自粛に伴い起床時間はやや遅くなった。
- ・バイトがなくなり、その分を趣味の時間にあてることが多くなった。

自粛前 (アパート)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1
睡眠	起床	朝練	授業	昼食	授業	バイト	風呂等	睡眠													

自粛中 (アパート)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1
睡眠	起床	課題	自主練	シャワー	オンライン授業	課題	昼食	昼寝	オンライン授業	自主練	夕食	趣味	課題	風呂等	睡眠						

●変わった点

- ・授業をある程度自分の好きな時間に受けられるようになったため、昼寝をするようになった。
- ・課題が多く課されるようになり、夜はほぼ課題をするため寝る時間が遅くなり、睡眠の質も落ちた。

●インタビューの答え

1. 実家に帰省しているので、家族と一緒に食事をとっています。昼食は自分で作ることもあります。
2. 週に一度くらいジョギングをしたり、用事を済ませる際に近所を散歩したり、家族と一緒にジムの動画を見てエクササイズをしたりしています。
3. 所属している合唱サークルでは、Teamsをミュート状態で繋ぎながら自主練習をしています。
4. 普段であれば話せないはずだった家族と話せることが一番良かったと思います。また、ずっと見たかった舞台公演の映像を視聴したり、本を読んだり進路について考えたりなど普段できないことができたのも良かったです。
5. 舞台を見ることが好きなので、舞台が再開したら劇場に行って生の芝居を観劇したいです。
(応理3年 Xさん)

●インタビューの答え

1. 基本的に自炊をしています。テイクアウトを利用したことはありませんが、対応店が増えているため一度利用してみるのもいいかなと思っています。
2. 馬術部に所属しているため馬の世話をしなくてはならず、毎日厩舎に行っています。家と厩舎との往復6km程を自転車で毎日走っているため、比較的運動は行なっている方ではないかと思っています。
3. 活動は停止中ですが生き物を扱っているため、餌を与える等馬の世話のみ行なっています。ミーティングはTeamsを用いオンラインで行なっています。
4. 今までゆっくり読書をするという時間が取れなかったのですが、この状況下でそういうライフスタイルも可能になりました。趣味に費やす時間は圧倒的に増えたため、そこに関してはかなり満足感を持っています。
5. サイクリングや釣りなど、アウトドアでできることをやりたいです。実家に帰省できない状況が続いているため、一度帰省もしたいです。
(人文2年 Yさん)

●インタビューの答え

1. 基本的に自炊をしています。時間のないときは手抜き料理になりますが、時間のあるときはバランスを考えた料理を作るようにしています。
2. 毎朝の検温とその記録を行っています。また、部活で行っているオンライントレーニングに加え、自主的にトレーニングや個人練習をしています。
3. 現在通常の部活動は行えていませんが、これまで部活があった曜日に全員参加のオンライントレーニングを行っています。また、週に一度、戦術について話し合うミーティングも行っています。
4. 授業で問われた問いかけに対して、一人でじっくり考える時間ができたのは良かったと思います。
5. 部活のみんなと直接会って話したいです。
(生物2年 Zさん)